

はしがき

『言葉と文化』第5号ができ上がった。単著が10篇、共著が2篇、計12篇の論文が掲載されている。

本誌の編集にあたってはレフェリー制が採られている。今回残念ながら選にもれた人は次回を期して発奮してもらいたい。

当日本語文化専攻では水谷泰弘教授（比較日本文化学講座）と大曾美恵子教授（日本語教育学講座）が2004年3月限りで退官される。誠に残念なことではあるが、これは仕方がない。両先生のこれからのさらなるご活躍をお祈りすると共に、今後も当専攻の教官や院生の指導にあたってくださることを切にお願いする次第である。

2004年2月10日

『言葉と文化』第5号
編集担当（専攻長）
小 坂 光 一